

日消連主催・講演会

ファイブ・ジー

「5Gで激増する電磁波曝露」

今年世界で商用化が始まり、来年には日本でも始まる見込みの5G。経済界は、便利なバラ色の社会を描きますが、本当にそうでしょうか。何より飛躍的に増える電磁波の曝露が心配です。商用化の始まりで、電磁波過敏症のパンデミック（世界的な流行）が起きるとも言われています。化学物質過敏症とともに、身近な公害として知ることから始めましょう。



日時：2020年1月25日（土）

14:00～16:00（開場 13:30）

会場：東京・文京シビックセンター5階、区民会議室AB（定員60人）

住所 東京都文京区春日1丁目16-21

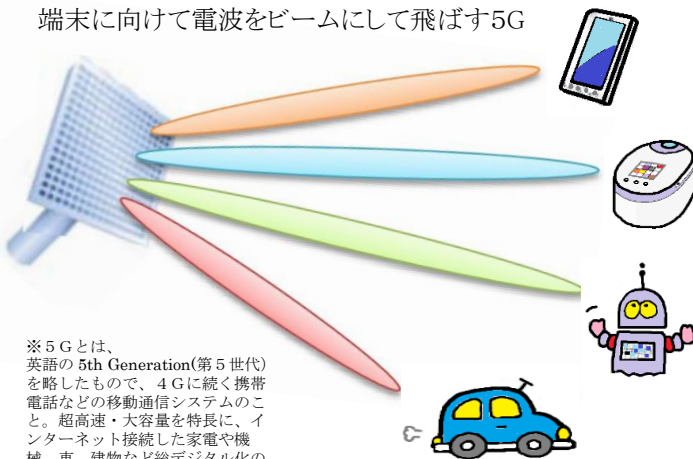
講師：網代 太郎（電磁波問題市民研究会）

参加費：800円（会員は500円）

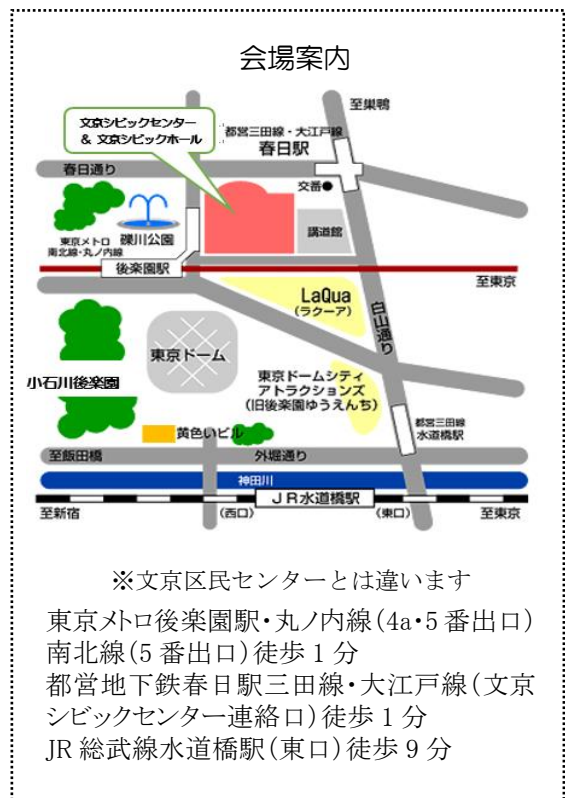
※資料準備の都合上、参加のお申し込みを下記連絡先までお願いします。

講師プロフィール：あじろ・たろう
元毎日新聞社記者。現在、行政書士、法律事務所職員、電磁波問題市民研究会スタッフ、NPO法人市民科学研究室環境電磁界研究会メンバー。

端末に向けて電波をビームにして飛ばす5G



※5Gとは、英語の5th Generation(第5世代)を略したもので、4Gに続く携帯電話などの移動通信システムのこと。超高速・大容量を特長に、インターネット接続した家電や機械、車、建物など総デジタル化の基盤になると言われている。



連絡先：日本消費者連盟 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

Tel:03-5155-4765

fax:03-5155-4767

e-mail:office.j@nishoren.org